

蕪栗沼・周辺水田

～ 蕪栗沼・周辺水田の魅力と問題点 ～

ユースが全国各地で湿地を取材、魅力を発信！ Youth Research Project

【蕪栗沼って！？】

宮城県の北部にある小さな沼。
「マガン」をはじめとするたくさんの渡り鳥が
冬のあいだ越冬する。

蕪栗沼・周辺水田 🔍

- ・登録面積
→ 423ha
- ・登録年月
→ 2005年11月
- ・ベストシーズン
→ たくさんの野鳥を楽しむ
ことができる11月～1月ごろ
※冬季は防寒が必要！

東京
ドーム
約90個分！

◎蕪栗沼の生きものと言えば…？

天然記念物の「マガン」！！

🔪 マガンとは？

昔は日本全国に生息。色は茶色っぽく、お腹の模様は白と黒の
縞模様。翼を広げると130～150cmぐらいになる。重さは2～3kg
ぐらい。

♡ マガンの性格

- ・とっても警戒心が強い！
⇒地上に人がいると上空でも人を避けるようにして飛ぶ。
⇒沼にいたるときも、他の家族と一緒に、首をあげて周囲を
警戒している。
- ・家族思い（？）
⇒お父さんは家族を守りながら、家族
全員が準備できたことを確認してから
飛び立つ。

♣️ マガンの生活

- ・日中は周囲の田んぼに行って、落ち穂
や雑草などを食べている。
- ・朝晩になると沼に帰ってくる。蕪栗沼
がねぐらになっている。

沼はマガンの夜の休憩場所。
水飲み場にもなっている。



マガンの飛び立ち
(NPO法人 蕪栗ぬまっこくらぶ提供)

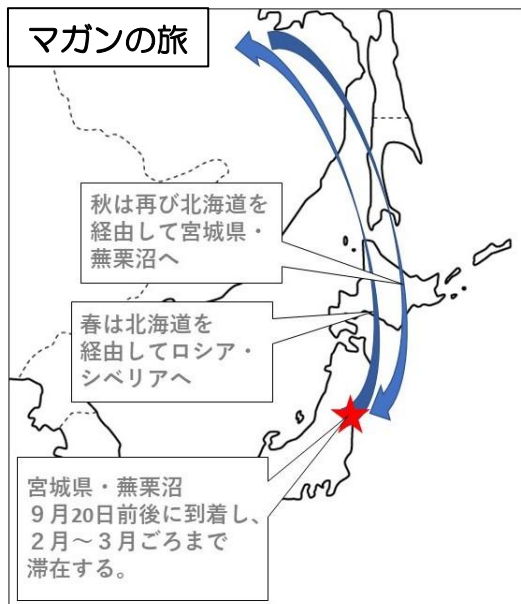


マガン
(NPO法人 蕪栗ぬまっこくらぶ提供)

【マガンを観察しての感想】

- <大きさ>
・中型の鳥だけど、実際に見ると大きく感じた。
- <顔>
・顔をよく見ると目がクリクリしててカワイイ！
- <数>
・蕪栗沼だけで5～6万羽もやってくる！
- <性格>
・なんだか人間みたい！

マガンの旅



👉 蕪栗沼の問題点

◎沼の陸地化

↳ 乾燥化、土砂の流入化などにより沼の陸地化が進行している。

マガンの「ねぐら」として重要な蕪栗沼の陸地化が進んでしまうと・・・



天敵であるキツネなどに狙われやすくなってしまう！



マガンが安心して休める場所がなくなってしまう。



蕪栗沼で休むマガン
(NPO法人 蕪栗ぬまっこくらぶ提供)

蕪栗沼・周辺水田の農業 ～冬水田んぼ～

蕪栗沼周辺の地域は・・・

↳ 水がおいしい！ 田んぼがたくさん！ おいしい米どころ！



そのなかでも「冬水田んぼ」のお米がおすすめ！

【冬水田んぼとは？】

冬の間も水を落とさずに、張ったままにしておく田んぼのこと。

♡ 冬水田んぼにはどんないいことがあるの？

マガンのねぐらになる！？

- ・ 冬の間も田んぼに水を張っておくことで、マガンの水飲み場、休憩する場所とすることができる。
- ・ 沼以外にマガンのねぐらが増える可能性がある！
(マガンは警戒心が強いので、寄ったり寄らなかったりもある)

お米作りにもいい！

- ・ 水を張っておくことで、田んぼに雑草が生えにくくなる！

蕪栗沼のレンジャーにインタビュー

<蕪栗ぬまっこくらぶって！？>

冬の間、蕪栗沼をガイドをしたり、夏の間は地元の学校に行き、環境教育の授業をしたりしている。ほかに草刈りなど、蕪栗沼の管理などもしている。

<のぞみさんが活動しようと思ったきっかけ>

小学生のときに環境教育の授業があった。その時に、急に先生が「蕪栗沼へ行こう！」ということになり自転車で行った。もともと動物や自然が好きだったので、その時に「こういうところで仕事をしたい」と思った。それから専門学校に行き勉強をして、この仕事に就いた。

<大変だったこと、辛かったことはありますか？>

一番、辛かったことは虫の調査。動物は好きだったけど、虫は少し苦手だった。仕事をはじめて、1年目、2年目のときは「もうどうしよう！」と思うくらい大変だった。いまは前日から気持ちを切り替えて、「明日は虫の調査」「明日は虫の調査」と気持ちを整理して頑張っている。

【インタビューしたレンジャー】

NPO法人 蕪栗ぬまっこくらぶ
事務局長

高橋のぞみさん



高橋のぞみさん取材中

<嬉しかったこと、幸せだったことはありますか？>

上司の戸島さんに環境教育でお世話になって、いま、この仕事に就けているから、今度は次の世代の子どもたちを育てたいと思っている。そんな時、学校で子どもたちが楽しそうに目をキラキラさせて「マガンってね」と話しかけてくれるのが嬉しい。

昔はマガンが何か分からない子どもも多かった。

<高橋のぞみさんの思う蕪栗沼の魅力！>

本当に身近で自分の一部だと思える沼です！

朝の「マガンの飛び立ち」と夕方の「マガンのねぐら入り」を、ぜひ見に来て欲しいです。

寒い時期の11月～1月がお勧めです！

<今後の目標>

一番の目標はたくさんの人に蕪栗沼を知ってもらうこと！

そしてこれからもっと地域に根ざして、子どもたちに「蕪栗沼がある大崎市ってすごいな！」と思ってもらいたいです。

<皆さんへのメッセージ>

2月ごろはとても寒いですが、その前の11月～1月ぐらいが蕪栗沼のベストシーズンです。ぜひ、蕪栗沼に遊びに来てください！

蕪栗沼の近くにある化女沼、伊豆沼もラムサール条約登録湿地。この3つを合わせて「みやぎラムサール・トライアングル」と呼びます。
「みやぎラムサール・トライアングル」巡り、おススメです！



化女沼

みやぎラムサール・トライアングル
お問い合わせ

<蕪栗沼>

特定非営利活動法人 蕪栗ぬまっこクラブ ☎ 0229-38-1401

<化女沼>

化女沼ダム観光資料館 ☎ 0229-28-1353

<伊豆沼・内沼>

伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター ☎ 0228-33-2216



蕪栗沼へのアクセス

○公共交通機関の場合

- ・JR東北本線「田尻駅」もしくは「瀬峰駅」下車
駅からはタクシー利用で10～20分

○自家用車の場合

- ・東北自動車道「古川インターチェンジ」から
約40分

○レンタカー利用の場合

- ・JR東北新幹線「古川駅」下車。
レンタカー利用で約40分

ユースリサーチプロジェクト ―蕪栗沼―

実施：2019年2月9日、10日（発行2020年6月1日）

取材：根岸奈央

取材・発行：ユースラムサールジャパン TEL/FAX 052-446-8489

E-mail youth.ramsar.japan2015@gmail.com

URL http://youth-ramsar-japan.jimdo.com/

Facebook www.facebook.com/youthramsarjapan

